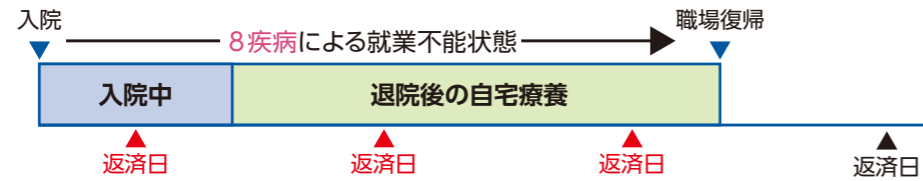


お支払い例

Case A 月々のローン保障

大腸がんにより30日間入院、退院後も自宅で2か月間療養した。

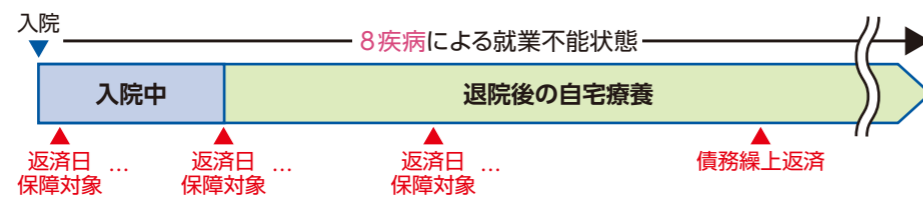


就業不能保障(3か月)

3回のローン返済額を保障します

Case B 月々のローン保障 + 残高ゼロ

くも膜下出血で4か月間入院、退院後も自宅で16か月間療養した。

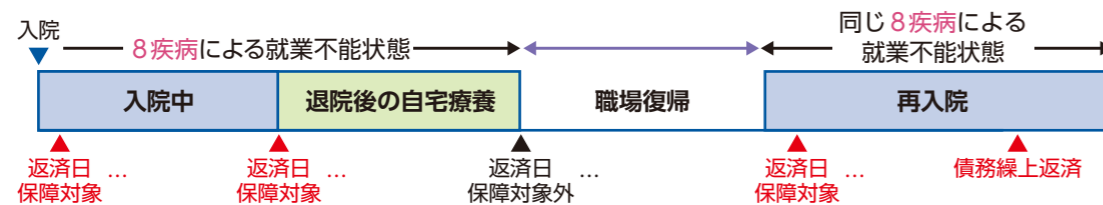


就業不能保障(12か月間)

12回のローン返済額保障の後、残高が0円になります

Case C 途中で職場復帰をした場合も就業不能状態継続とみなされ残高ゼロ

糖尿病により1か月間入院、5か月間自宅療養し復帰するも4か月後に3か月間再入院した。



就業不能保障(6か月間)

4か月間

就業不能保障(2か月間)

就業不能発生から12か経過

同じ原因により、180日以内に再び就業不能状態となった場合には、前回と継続した就業不能状態とみなします。

※保険金等のお支払いには所定の条件があります。被保険者のしおりに記載の契約概要・注意喚起情報をご確認ください。

福島銀行

【引受保険会社】
SBI生命保険株式会社

【お問合せ先】
団体信用生命保険サポートデスク 0120-272-350

*携帯電話・公衆電話からご利用いただけます。
受付時間 月曜～金曜 9:00～18:00 土日・祝日 10:00～17:00(年末年始を除く)

募資 5-1912-482-99



がんを含む
すべての病気やケガ^{*1}
から大切な資産をお守りする

「全疾病保障」の住宅ローン

保障内容イメージ(団体信用生命保険の概要)

一般団信 ^{*2}	死亡または所定の高度障害状態に該当したら	住宅ローン残高が0円になります
	医師の診断をもとに保険会社により余命6か月以内または重度のがんと判断されたら	住宅ローン残高が0円になります
+ 全疾病保障	がんを含む8疾病 ^{*3} による就業不能になったら	①月々のローン返済額を保障します(免責期間なし) ②就業不能状態が12か月継続したら 住宅ローン残高が0円になります
	8疾病以外のすべての病気やケガ ^{*1} による就業不能になったら	①月々のローン返済額を保障します(3か月免責あり) ②就業不能状態が24か月継続したら 住宅ローン残高が0円になります

*1:精神障害等所定の免責事由に該当するものを除きます。

*2:ワイド団信により通常よりお引受範囲を拡大できます。(金利上乘せあり)

*3:がん、急性心筋梗塞、脳卒中、高血圧症、糖尿病、慢性腎不全、肝硬変、慢性膵炎。

※保険金等のお支払いには所定の条件があります。被保険者のしおりに記載の契約概要・注意喚起情報をご確認ください。

一般団信の概要

団体信用生命保険

死亡または所定の高度障害状態になった場合、住宅ローン残高が0円になります。

⇒ 保障開始日以降に、死亡または所定の高度障害状態になった場合、その時点のローン残高相当額が保険金として支払われ、ローンの返済に充当されます。

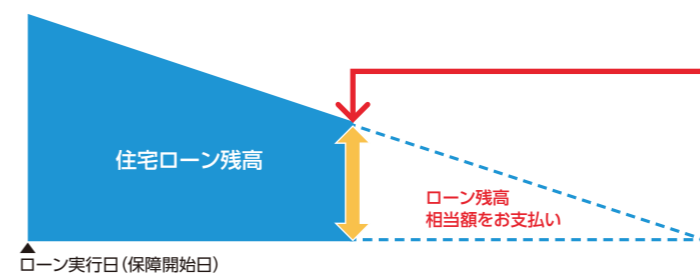
リビングニーズ特約・重度がん保険金前払特約

余命6か月以内または重度のがんと判断された場合、住宅ローン残高が0円になります。

⇒ 保障開始日以降に、医師の診断をもとに保険会社に余命6か月以内と判断された場合、その時点のローン残高相当額が保険金として支払われ、ローンの返済に充当されます。

⇒ 保障開始日以降に、医師の診断をもとに保険会社に重度のがん（標準的な治療の指針にもとづく治療をすべて受けたが効果がなかったなど）と判断された場合、その時点のローン残高相当額が保険金として支払われ、ローンの返済に充当されます。

<保障イメージ>



住宅ローン残高が0円に!

- お亡くなりになった場合
- 所定の高度障害状態に該当した場合
- 余命6か月以内と判断された場合
- 重度のがんと判断された場合

全疾病保障付団信の概要 (一般団信にプラス)

団体信用生命保険就業不能保障特約

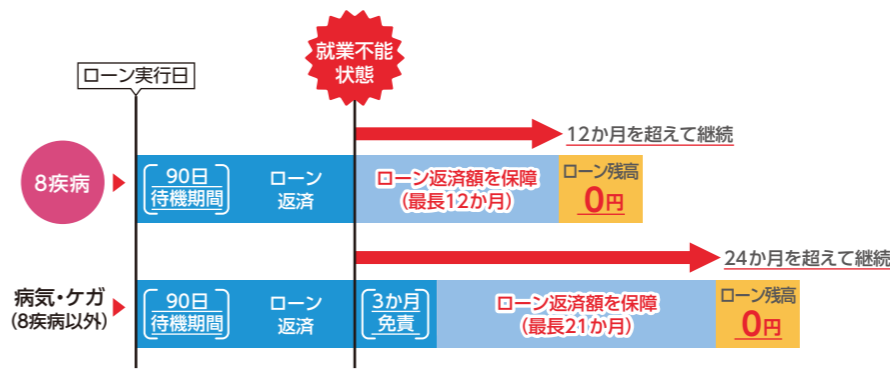
月々のローン返済の保障

⇒ 保障開始日以降に病気やケガにより就業不能状態となり、その状態が所定の免責期間を超えて継続し、ローン返済日が到来した場合、ローン返済額が保険金(就業不能保険金)として支払われます。
※ローン期間を通算して36か月分までお支払いします。

ローン残高の保障

⇒ 保障開始日以降の病気やケガによる就業不能状態が所定の期間を超えて継続した場合、その時点のローン残高相当額が保険金(債務繰上返済支援保険金)として支払われます。

<就業不能保障イメージ>



8疾病

- 3大疾病
 - ・がん(悪性新生物)
 - ・急性心筋梗塞
 - ・脳卒中
- 重度慢性疾患
 - ・高血圧症
 - ・糖尿病
 - ・慢性腎不全
 - ・肝硬変
 - ・慢性膵炎

就業不能保障のQ&A

Question 1

就職してなくても就業不能保障は受けられますか?

Answer 1

実際に就職しているかどうかは問わず、就業不能状態に該当すれば保障対象となります。

Question 2

自宅で療養している期間は就業不能の対象となりますか?

Answer 2

病気やケガにより、日常生活に制限を受けるかまたは制限を加えることを必要とするため、活動範囲が家屋内に限られる場合(通院などの必要最低限の外出を除く)を自宅療養といい、医師の指示による自宅療養については対象となります。軽作業または事務作業等ができる場合は該当しません。

Question 3

ボーナス返済月については、ボーナス返済額も支払いの対象となりますか?

Answer 3

就業不能保険金の支払い対象となった月がボーナス返済月だった場合には、ボーナス返済額と月々の返済額をお支払いいたします。

※ローン実行日から90日間は待機期間となり、この期間中に就業不能状態となった場合は原因を問わずお支払いの対象外です。(保障開始日は、ローン実行日から91日目です。)
※精神障害、正常な妊娠・出産、むちうち症または腰痛で医学的他覚所見のないもの等はお支払いの対象外です。
※上皮内がん、大腸の粘膜内がん等は悪性新生物に含まれません。
※就業不能状態とは、病気・ケガの治療のため、入院しているか医師の指示により自宅等において療養していることをいいます。
※同じ原因により、180日以内に再び就業不能状態となった場合には、前回と継続して計算します。

(参考) 就業不能状態の事例

事例①

脳卒中

(37歳 女性)

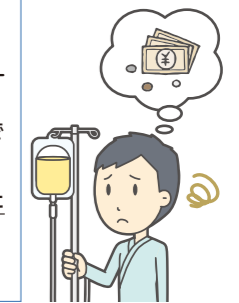
脳卒中(脳梗塞)で倒れ救急搬送後、3か月間入院。右半身の手足に力が入らない片麻痺(半身不随)の後遺症が残り、自力で歩行や食事が出来ない状態に。退院後も9か月間、医師の指示により自宅で療養している。

事例②

交通事故により脊髄損傷

(31歳 男性)

交通事故により脊髄損傷し、7か月間入院。外出には常時2本杖と介助が必要で段差の昇降もできない状態に。退院後も回復の見込みがなく、17か月間、治療のため医師の指示により自宅で療養している。



※保険金等のお支払いには所定の条件があります。被保険者のしおりに記載の契約概要・注意喚起情報をご確認ください。